

てびねり

五月号

平成21年5月1日発行
株式会社ゆしま陶助

東京上野

東京国立博物館平成館

今、上野にある東京国立博物館平成館で、興福寺創建1300年記念 国宝「阿修羅展」が開催されています。

同像は、奈良時代に作られ、興福寺で1300年の間大切に守られてきました。

みなさんご存知の、独特の憂いを含んだ表情で有名な、三つの顔と六本の腕を持つ仏像です。



(上)東京国立博物館入口に立つ、阿修羅展の大ポスター(4月20日撮影)
(右)てのひらに乗る阿修羅像のフィギュア(産経ニュース文化欄より)



今回、爆発的な人気を呼んだのは、もちろん阿修羅像ですが、そのフィギュアが作られ予約販売されたことも人気を呼んだ要因のようです。数は1万5千個。あつという間に完売したそうですが、このミニチュアを制作したのは、ウルトラマンなど特撮ヒーローのフィギュア制作を得意とする大阪の海洋堂の原型師「木下隆志」さんでした。実物の1/2分の1の大きさですが、制作は、やはり憂いを浮かべた顔の表情が一番難しかったそうです。

江戸時代に最も盛んに行われた「出開帳」は、浄財を集めるため、地方の名刹が持ち込むことが大変多かったそうですが、今回は57年振りで2回目の「出開帳」になります。

期間：6月7日まで。土・日・祝は夜8時まで特別開いています。

記 佐藤

◆今月の制作風景

◆上手に均等に…



中原玲子さん
カップの削り中ですが、上手に均等に削ってください。

◆初めての絵付け…



川淵啓子さん
揃いの組皿に絵付けをしています。すが、やきものの絵付けは初めてですが、上手に手際よく仕上げましたね。

◆ロクロで大鉢…



石川宏さん
電動ロクロで大鉢づくりに挑戦していますが、今まで小さなものを上手に作っていますから、大きなものも大丈夫です。

◆少し硬いわ…



柿沼ひろみさん
湯吞を削っています。今回は、少し時間が経っているのに硬くなり削るのが大変ですが、頑張ってください。

◆スープ鍋です…



加藤美代子さん
写真よりももう少し平たいスープ鍋が希望のようですが、整えているうちにご希望の形になってきますから心配ありません。

◆子豚の植木鉢…



山本登美子さん
今は真っ白な子豚ですが、これから上絵の具で色付けをします。植木鉢としてのこぶたはどんな色が良いのか、出来上がりが楽しみです。 (裏面に完成品掲載)

◆割り山椒…



中村雅志さん
割り山椒は会席料理には欠かせない器ですが、バランスが大切ですから、上手に削ってください。

◆大きな植木鉢…



新津恭子さん
つるべ井戸のような形の植木鉢。赤土と白土が混じったところをやすりできれいに仕上げています。

◆初のツーショット…



坂本のぶよさん(左)
対尾景子さん(右)
初のツーショットです。

◆初級コースご紹介



宮内美恵子さん
「4月から初級コースに入りました。よろしくお願いたします」



板倉能子さん
「わたしも初級コースですが、以前に少しだけ経験があります。よろしくお願いたします」

不忍池と上野公園で見つけた藤とつつじ



■私が勧める美味しい店

旬菜料理 きわ

推薦者 中岡公子さん

私が時々途中下車して、仲間の人たちと立ち寄る美味しいお店が、北千住駅北口から5分の所にある旬菜料理の店「きわ」です。小さなお店ですが、料理の品数は豊富で、和を中心とした京風料理もあり、女性に人気の「おまかせプチコース4品1500円」などお得なコースもあります。



もう一つの特徴は焼酎や地酒に力を入れていて、幻の焼酎、魔王や森伊蔵なども呑めるのが人気になっています。カウンター席8席、テーブル席10席で、地元のみなさんや、一大ターミナル駅になった北千住駅を利用するお客様でいつもにぎわっています。

もう一つうれしい事は、「きわ」はチェーン店ではなく、この店一軒だけがんばっている事です。「きわ」は漢字で書くと「喜和」。旨い肴と酒があれば、皆喜び皆和むから命名したのだそうです。北千住は湯島から12分で行きます。ぜひ一度お訪ね下さい。

電話5813・9555 月曜定休



店内風景・料理とテーブル席
取材・文 中岡公子

今月の作品

写真は実物と大きさが違う場合があります。作品の撮影とコメントは講師のみなさんにお願ひしています。

□平井久和さん 「三段重」



黄瀬戸の上に織部釉を掛けたお重ですが、織部の色が見事に出了ました。内側には四季を感じさせる絵付けを施し、外側の大胆な彫りが生きています。歪みもなく素晴らしいです。

□川淵啓子さん 「組皿」



和の柄の染付けの組皿。古代呉須に透明釉を掛け、還元焼成しましたが、御本手もきれいに出来ました。

□佐藤真理さん 「茶器」



茶道具の一つの「振り出し」を作りました。飴釉にルリイラボを掛け分けました。お茶道具らしく洗い感じに焼き上がりしました。

□小野芳子さん 「薬味入れ」



柿の形をした薬味入れ。鉄赤と織部を使って還元で焼きました。柿の渋い色が良く出ていますし、きれいな仕上がります。

□中山弘子さん 「長四方皿」



石膏の型を使って作った長四方皿です。型を使って作ると歪みやすいのですが、上手に出来上がりました。色も伊羅保釉の還元で、とても渋く上がりました。

□小林和彦さん 「マグカップ」



少し大きめのマグカップです。表面に彫りを入れて黄瀬戸・織部の掛け合わせ。内側をゴールドに仕上げたので、パイナップルを思わせる作品です。

□上原由美子さん 「象嵌平皿」



赤土で作った平皿に化粧象嵌をしました。皿が乾く前に、和紙に化粧で葉の形をあらかじめ書き、シールのよりに張り全体に織部を掛けました。

□浅沼範子さん 「割り山椒」



赤土で作った化粧を掛け粉引にした割り山椒が仕上がりました。還元焼成しましたが、御本手も良く出ました。

□山本登美子さん 「こぶた植木鉢」



ピンク色の目が愛らしい花柄の子ぶたのミニ植木鉢。植えるのは、ミニ蘇鉄？ミニ幸福の木？何でしょうね。

□渡邊美智子さん 「兜」



見事な兜ですね。赤土で作った黒マットに伊羅保釉を吹き付け、鍔型（角）には金箔を貼りました。5月の節句に間に合いました。迫力と気品のある作品です。

□井平啓子さん 「御深井鉢」



全体に御深井釉を厚く掛け、縁にトルコ青をやはり厚く流れるほどに塗り還元焼成しました。流れ溜まった釉に美しい六角形の貫入が出ました。

□畑山菊恵さん 「染付中皿」



手頃な大きさの皿に染付で草花を描き、透明釉を掛け還元焼成しました。ポイントに花には上絵で白を入れた、焼き上がりが見事な皿です。飾り皿にしても良いですね。

□小窪猛さん 「片口鉢」



電動ロクロで作りました。ロクロ目を生かしながら、楕円形に形を少し歪めました。白マット釉を掛け、還元焼成しました。

□石黒郁子さん 「楕円鉢」



大小の楕円鉢に黒マット釉全体に掛け、上半分にトルコ青釉を少し厚めに掛け酸化焼成した作品です。トルコ青がポイントになり、素敵な楕円鉢です。

□中原玲子さん 「花入れ」



赤土で作ったひもを編み上げた花入れです。中には花を入れるカップがあります。形に飴釉がピッタリです。

□加藤美代子さん 「鉢」



柔らかい内に力を加え、三角に歪めました。マスキングをして鉄赤を掛け、マスキングの所は筆で黒マット釉を塗り、還元焼成しました。渋くてモダンな作品です。

見た事・聞いた事・読んだ事

「アナログ・地デジ・わかります？」 テレビで盛んに2011年7月24日アナログ放送が終わり、地上デジタルテレビジョン放送に切り替わると言っています。アナログテレビで何の支障もないのに、なぜ地デジに切り替えてしまうの、と素朴な疑問を持つ人が多いと思います。ところが、あわててテレビを地デジ対応にした人が沢山いるというのに、最近では2011年が過ぎてもアナログテレビが見られるというニュースが流れています。 それにしても、最近のテレビは内容がマンネリ化してつまらないと思いませんか。チャンネルを回すとお笑いの連中が手をたたきながら大口を開けて馬鹿笑っているシーンばかり。チャンネルもやたらに増えました。それも国営放送以外は昼でも真夜中でも、若返りのサプリメントの販売と保険のコマーシャルを流しているばかりです。 草薙剛君のコマーシャルの地デジもいいですが、昔「国民総白痴化」という言葉がはやったことがあります。その二の舞にならないために、是非テレビのチャンネルの数と内容を考えてもらいたいものです。（佐藤）